

# 令和5年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

令和5年度は、これまでの事業実施の成果を踏まえつつ、舞台芸術公演や市民参加型事業等の文化振興事業を通して、芸術文化の振興、普及に努めた。

特に、アクリエひめじ開館記念の3年目として、世界的名声を誇る英国ロイヤル・バレエ団やベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の日本ツアーにおける姫路公演を開催し、姫路市民だけでなく全国のファンが姫路に集まった。また、当財団の芸術監督である池辺晋一郎氏によるオリジナル公演や、本市出身の劇作家である鄭義信氏が脚本を手掛けた、家島諸島を舞台とした演劇作品など、オープニングシリーズの締めにあふさわしい華やかな、そして地元姫路に関連した公演を開催し、鑑賞の裾野を広げると共に交流人口増とにぎわい創出の一翼を担うだけでなく、全国にアクリエひめじをアピールすることができた。また、子どもが参加できるコンサートや舞台、ワークショップ等は若い世代に向けて芸術文化に気軽に触れる場を提供し、参加人口増や次世代の育成に寄与した。施設管理業務においては、経費の節減を図りながら、来館者の安全性の確保と市民サービスの向上を行い、適切な運営に努めた。

姫路市書写の里・美術工芸館においては、郷土の工芸に根付く生活文化の再発見を促し感性を育む場として、幅広い世代を対象とした企画展示及び体験教室等の育成・普及事業を実施することにより、美術工芸の振興と継承を促進した。

国際交流事業においては、海外諸国との相互理解と友好的な親善を推進し、世界に開かれた魅力ある国際都市づくりを目指した。特に、在住外国人の社会的な孤立を防ぐべく、コミュニケーションの場を創設・維持し、適時性のある情報発信と相談窓口の充実による地域社会全体での受け入れ体制の充実を促進した。同時に、若い世代の異文化理解を深める機会とした海外姉妹都市の若者との交流体験をはじめ、市民に開かれた講座やイベント、姉妹都市交流等の国際交流体験の提供等、地域ぐるみの国際交流事業を通して、市民の国際交流への理解と関心を高め、国際都市姫路の環境醸成に努めた。

その他、時節をとらえ柔軟に事業の形を整えて展開することにより、文化芸術・国際交流分野だけの振興にとどまらず、観光、まちづくり、教育その他関連分野との連携を深め、市民の活力ある文化的な生活の実現に寄与していった。また、姫路城世界遺産登録30周年記念に協賛し、シティイメージの向上に努めた。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとした。

- |         |          |                        |
|---------|----------|------------------------|
| 公益目的事業1 | (略＝〔公1〕) | 舞台芸術等文化振興事業            |
| 公益目的事業2 | (略＝〔公2〕) | 博物館学芸振興事業              |
| 公益目的事業3 | (略＝〔公3〕) | 文化施設の貸与及び管理運営事業        |
| 公益目的事業4 | (略＝〔公4〕) | 国際交流事業                 |
| 収益事業1   | (略＝〔収1〕) | 管理運営施設等の物品販売事業         |
| 収益事業2   | (略＝〔収2〕) | 文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業 |
| その他事業1  | (略＝〔他1〕) | その他の文化・国際交流事業          |

## I 舞台芸術等文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施した。

### 1 アクリエひめじオープニングシリーズ [公1]

播磨地域の文化交流拠点として開館する姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)のオープンを記念してハイレベルな大型公演事業を実施し、新しい文化の殿堂と姫路のにぎわい拠点の誕生をプロモーションするとともに、新施設のイメージアップを図った。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	英国ロイヤル・バレエ団 2023年日本公演 姫路公演 ＜ロイヤル・バレエ・ガラ＞	R5.7.8(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	財団主催のバレエ公演は10年振りとなる。今回は世界屈指の名門、英国ロイヤル・バレエ団を迎え、日本人プリンシパルらによるガラ公演を開催した。 【入場者】1,703人
2	姫路市ジュニアオーケストラ ×せたがやジュニアオーケストラ クロスオーバーコンサート	R5.8.20(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	姫路市ジュニアオーケストラとともに池辺音楽監督が携わる、せたがやジュニアオーケストラとの友好ジョイントコンサートを実施。 両ジュニアオケがクロスオーバーし総勢100名を超えるジュニアたちが一斉に出演。誰もが一度は耳にしたことがあるエルガー作曲「威風堂々」などを演奏。 【出演者】多戸幾久三(姫路市ジュニアオーケストラ指揮)、和田一樹(せたがやジュニアオーケストラ指揮)、姫路市ジュニアオーケストラ、せたがやジュニアオーケストラ(管弦楽) 【入場者】611人
3	文学座公演 「五十四の瞳」	R5.9.2(土) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	姫路が舞台となる鄭義信氏の書下ろし公演の文学座による関西ツアー。地元ならではの関連イベントも併せて開催し、他の開催地域との差別化を図った。 【入場者】421人
4	ベルリン・フィルハーモニー 管弦楽団来日公演 指揮キ リル・ペトレンコ 姫路公演	R5.11.18(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	世界3大オーケストラの一つであるベルリン・フィルハーモニー管弦楽団が、姫路城世界遺産登録30周年及びアクリエひめじ開館を記念して、初の姫路公演を実施。今回、新たに首席指揮者に就任したキリル・ペトレンコ(2019年就任)とともにブラームス/交響曲第4番ホ短調、モーツァルト/交響曲第29番イ長調などの名曲を演奏。 【出演者】キリル・ペトレンコ(指揮)、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団(管弦楽) 【入場者】1,928人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
5	ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2023	R5.12.21(木) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークの音楽を、ニューヨークで活躍するヴォーカリストとオーケストラの生演奏で贈る、大人のための音楽会を実施。 今回は「With You～愛を奏でる」をテーマに、アニメーション映画『美女と野獣』を含むプログラムをスクリーンの映像と照明演出で魅了した。 【入場者】1, 863人
6	反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ コンサートツアー2024	R6.2.18(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	2021年第18回シヨパン国際ピアノコンクールで日本人では半世紀ぶりに第2位に輝いた反田恭平が自身が創設したオーケストラコンサートを実施。プログラムには、モーツァルトの曲目の中でも馴染深い名曲〈歌劇『ドン・ジョヴァンニ』序曲〉と、ピアノ曲の名曲としても知られ反田自身によるカデンツァが楽しみな「ピアノ協奏曲第20番」などを披露。 【出演者】反田恭平(指揮・ピアノ)、Japan National Orchestra(管弦楽) 【入場者】1, 935人
7	池辺晋一郎 Presents 不朽の邦画音楽コンサート 銀幕の名曲たち	R6.2.24(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	選りすぐりの邦画音楽を生のおーケストラ(国内のトップ奏者が首席を務める姫路オリジナルのオーケストラ)で贈る演奏会を実施。司会は日本を代表する作曲家・池辺晋一郎。トークゲストには世界が称賛する名俳優・役所広司を迎え、豪華コンビで演奏会を盛り上げた。 【出演者】 池辺晋一郎、空井仁美(司会)、役所広司(トークゲスト)、山下一史(指揮)、Legendary Orchestra in Japan(管弦楽) 【入場者】1, 795人
8	音楽の絵本 フェアリーテール	R6.3.30(土) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	0歳から入場できる親子のためのクラシックコンサートを実施。誰もが一度は耳にしたことのある名曲の数々を動物たちがそれぞれの個性を活かしながら、しばし現実の世界を離れ、おとぎ話の世界にどっぷりと浸りながら動物たちの演奏を贈った。 【入場者】655人
9	ブラス・エクシード・トウキョウ 姫路公演	中止	アクリエひめじ 中ホール	公演日程と会場取得が困難なため中止

## 2 音楽のまち・ひめじ [公1]

姫路の街ににぎわいを創出すべく、特に音楽の分野において多彩かつ芸術性の高い鑑賞型の公演並びに参加型イベント等を推進した。

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第26回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合	R5.5.5(金・祝) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	地元アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を実施。映画「スウィングガールズ」のモデルとなった兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部や、今回初出場の兵庫県立加古川南高等学校吹奏楽部などの学生バンドや、社会人によるコンボ、ビッグバンドなど総勢11団体がおなじみのスタンダードナンバーや映画音楽などを演奏。 【出演】メカトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンス・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、姫路市立灘中学校吹奏楽部他 計11団体、三浦紘朗(司会) 【入場者】1,650人
2	懐かしの洋楽ヒットパレード (第23、24、25回)	R5.5.25(木) R5.9.28(木) R6.2.11(日・祝) 【年間3回】	キャスパホール	元ラジオ関西DJの三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源によるCDコンサートを実施。 【入場者】①269人②226人③205人
3	播磨国吹奏楽団演奏会	R5.5.27(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	ジョン・ウィリアムズのアシスタントも務め、今国内で最も注目を集める指揮者・原田慶太楼と、日本のフルート界を牽引するNHK交響楽団首席フルート奏者・神田寛明、そして地元播磨を中心としたプロ奏者によって構成された吹奏楽団・播磨国吹奏楽団が、耳と心を震わせる圧巻のサウンド(ホルスト/惑星、ウィリアムズ/スター・ウォーズ他)を演奏。 【出演者】原田慶太楼(指揮)、神田寛明(独奏、NHK交響楽団首席フルート奏者)、播磨国吹奏楽団(演奏) 【入場者】577人
4	姫路城世界遺産登録30周年記念 姫路城100本のトランペット	R5.6.17(土) 【1回】	姫路城三の丸 広場特設会場	姫路城が世界遺産登録30周年を迎えることを記念し、お城をバックに、100本のトランペットによる高らかな音色で祝福を奏でる演奏会を開催した。なお、出演者(申込制)選考にあたり音楽監督である杉木峯夫の意向により、申込者213名全員参加となった。 【出演者】杉木峯夫(音楽監督・指揮、東京藝術大学名誉教授)、小林好夫(副音楽監督、元東京藝術大学非常勤講師、メランジェ合奏団)、秋田賀文(顧問、武蔵野音楽大学名誉教授)、小松康裕(顧問、全日本音楽教育研究会事務局長) 【参加者】姫路市内56名、兵庫県内92名、兵庫県外65名 計213名 【観覧者】約3,000人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
5	姫路市ジュニアオーケストラ 第2回定期演奏会	R5.7.2(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	満を持して迎えた第1回定期演奏会から1年、 県外での依頼演奏やアンサンブルでの舞台な どの経験を積み、さらにレベルアップした姫路 市ジュニアオーケストラが第2回定期演奏会を 開催。プログラムにオーケストラ界の難曲かつ 大曲、チャイコフスキー交響曲第4番とドヴォル ザークチェロ協奏曲に挑戦した。 【出演者】岩村力(指揮)、加藤文枝(独奏、チェ ロ)、姫路市ジュニアオーケストラ(演奏) 【入場者】328人
6	池辺晋一郎芸術監督シリーズ 「音楽をのぞいてみよう」  第5回 チャイコフスキー  第6回 ドヴォルザーク	R5.7.23(日)   R5.12.2(土) 【2回】	パルナス ホール	池辺芸術監督企画による、作曲家を題材に音 楽の楽しみ方や若手プロ演奏家育成を兼ね備 えた演奏会を実施。 第5回は記念演奏会として企画。 ・第5回 【出演者】池辺晋一郎(お話)、梶原千聖(ヴァ イオリン)、橋本礼奈(ピアノ)、日本センチュ ー交響楽団 弦楽アンサンブル 【入場者】251人 ・第6回 【出演者】池辺晋一郎(お話)、糸田麻里絵(ソ プラノ)、村上真璃南(チェロ)、西岡仁美(ピ アノ) 【入場者】232人
7	ピアノデュオ アンセットシス	R6.3.9(土) 【1回】	パルナス ホール	ピアニスト・作曲家である山中惇史と高橋優介 によるピアノデュオ《アンセットシス》を迎え2台ピ アノによる演奏会を開催。アンセットシスとは“1 76”のフランス語読みで、88鍵×2=176に由 来する。ピアノ2台の176鍵盤を縦横無尽に駆 使し、オーケストラサウンドを超越するような壮 大な表現で、チャイコフスキーの組曲「くるみ割 り人形」をはじめとした名曲を演奏。 【出演者】山中惇史(ピアノ)、高橋優介(ピアノ) 【入場者】243人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
8	パルナソス 朝のハーモニー	年 間 【6回】	パルナソス ホール	<p>原則第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。出演者は「姫路パルナソス音楽コンクール受賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図った。</p> <p><b>【出演者】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/13: 谷村香衣(ヴァイオリン)、三浦舞夏(ピアノ)</li> <li>・7/8: 森下真衣(ピアノ)</li> <li>・9/9: 梶原千聖(ヴァイオリン)、金未卯(ピアノ)</li> <li>・11/11: 山司恵莉子(オルガン)</li> <li>・1/13: 稲本愛歌(チェロ)、松尾紗里(ピアノ)</li> <li>・2/10: カルテット・プリマヴェーラ(石川未央(第1ヴァイオリン)、岡祐佳里(第2ヴァイオリン)、多湖桃子(ヴィオラ)、大江慧(チェロ))</li> </ul> <p><b>【入場者】</b>延べ1,001人</p>
9	姫路市ジュニアオーケストラ (運営)	通年	アクリエひめじ 他市内公共施設等	<p>池辺芸術監督の提唱により、幅広い年齢層の若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材へと育成するため、令和2年8月に創設されたオーケストラの運営を行う。このオーケストラは、池辺芸術監督(作曲家)、団長清元秀泰(姫路市長)、アドバイザー三浦章宏(ヴァイオリン、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)の指導のもと、アクリエひめじでの定期演奏会を始め、学校の体育館や地域のコミュニティセンターに出向いて行うミニコンサートなど、地域の中で広く文化交流の輪が広まる活動を行った。</p> <p><b>【演奏会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/2 第2回定期演奏会(会場:アクリエひめじ大ホール)</li> <li>・8/20 姫路市ジュニアオーケストラ×せたがやジュニアオーケストラ クロスオーバーコンサート(会場:アクリエひめじ大ホール)</li> <li>・12/24 クリスマスコンサート(会場:アクリエひめじ展示場C)</li> <li>・2/17 播磨地域6エリアロータリークラブ(会場:ホテル日航姫路)</li> </ul>
10	文化情報広報発信	通年	市内	<p>姫路市ジュニアオーケストラの活動をはじめとする青少年への音楽普及を目指し、FM Genki 等を通じてPRを実施した。</p>

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
11	音楽のまち・ひめじプロジェクト	通年	市内	<p>市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、ホームページで発信を行い音楽の力で姫路を元気にする事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふらっとお散歩コンサート 10/29 会場:姫路文学館、淳心学院心城館、イーグレひめじアートホール 【観覧者】約498人</li> <li>・まちかどコンサート 12/24 姫路市ジュニアオーケストラ クリスマスコンサート(会場:アクリエひめじ展示場 C) 【観覧者】約10,000人</li> <li>・交響詩ひめじ PR コンサート 2/11 姫路市吹奏楽団演奏会(会場:姫路城三の丸広場) 【観覧者】約10,000人</li> </ul> <p>「社会包摂事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳からのリトミックあそび(会場:アクリエひめじスタジオ1) 6/2、8/1、10/3、12/4 【参加者】延べ149組(親子・2回公演)</li> <li>・オルガンアウトリーチ 9/20 白鷺小中学校、10/16 安室東小学校、11/2 津田小学校、11/15 谷外小学校、11/30 香呂南小学校 【参加者】延べ2,574人</li> <li>・はじめてのフルーツ体験 8/27 会場:パルナソスホール 【参加者】延べ27人(2回公演)</li> </ul>
12	ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会関連業務	通年	市内	<p>市民の間へのクラシック音楽を楽しむ土壌の醸成、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現すると共に、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として、平成24年から赤穂国際音楽祭と共同で開催するル・ポン国際音楽祭の実行委員会の一員として、市民への広報、公演の運営に参画した。</p>

[パルナソス育成普及事業]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第26回 姫路パルナソス音楽コンクール	R5.6.24(土) 弦楽器部門本選 R5.6.25(日) ピアノ部門本選 【2回】	パルナソス ホール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と音楽活動の支援を目的とするコンクールを実施。 【部門】弦楽器部門、ピアノ部門 【審査員】池辺晋一郎(作曲)、大谷玲子(ヴァイオリン)、豊嶋泰嗣(ヴァイオリン・ヴィオラ)、林裕(チェロ)、田中修二、阿部裕之、山畑誠(ピアノ)、藪田翔一(作曲) 【受賞者】 ・弦楽器部門 第1位 池田聖香、第2位 首藤主来、 第3位 村上真璃南、松蔭さと 予選出場者13人 本選出場者9人 ・ピアノ部門 第1位 細川萌絵、第2位 板舛李空、 第3位 住野光理 予選出場者22人 本選出場者12人 【入場者】109人
	第26回 姫路パルナソス音楽コンクール 受賞者演奏会	R5.10.22(日) 【1回】	パルナソス ホール	コンクール受賞者演奏会を実施。 【出演者】池田聖香(ヴァイオリン)、首藤主来(ヴァイオリン)、村上真璃南(チェロ)、松蔭さと(ヴァイオリン)、細川萌絵(ピアノ)、板舛李空(ピアノ)、住野光理(ピアノ) 【入場者】200人
2	第23回 上田晴子ピアノスクール「マスタークラス」	R5.7.27(木) ～7.30(日) 【4回】	パルナソス ホール	ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスンを実施。技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。 【講師】上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授) 【実技受講者】延べ46人【聴講者】延べ92人
3	バロック in 姫路 バロックの歌物語～オペラ 《ポッペアの戴冠》を中心に～	R6.1.8(月・祝) 【1回】	パルナソス ホール	チェンバロ・オルガンの奏者として第一線で活躍し、ホールのチェンバロ講座の講師を長年務める大塚直哉がプロデュースするシリーズ「バロック in 姫路」を実施。今回はバロックの『うた』の魅力に迫るべく、オペラ《ポッペアの戴冠》から、内容や聴きどころ、名場面をわかりやすく紹介するハイライトコンサート。 【出演者】鈴木美登里(ソ프라)、小林恵(ソプラノ)、波多野睦美(メゾソプラノ)、中嶋俊晴(カウンターテナー)、佐藤亜紀子(テオルボ)、大塚直哉(チェンバロ、ポジティブオルガン) 【入場者】172人

[パルナソス楽器普及事業]

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業  オルガン講座・1日体験  オルガンシリーズ Vol.14 大平健介×ウルリッヒ・ヘルマン デュオリサイタル  オルガンシリーズ Vol.15 マティアス・マイヤーホーファー オルガンリサイタル  オルガンシリーズ Vol.16 オルガン協奏曲の祭典	通年  R5.4.15(土)  R5.9.16(土)  R6.1.28(日)  【各1回】	パルナソス ホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り「オルガン講座(通年コース(5クラス)、1日体験)」「オルガンコンサート」を実施。 ●オルガン講座・1日体験 【講師】長田真実(ホールオルガニスト) ・通年コース 【受講生】A=6人、B=4人、C=6人、D=6人、E=6人 延べ28人 ・受講者発表会(2/24)【入場者】79人 ・1日体験(7/15、9/30、2/12 各 A・B クラス) 【受講者】延べ35人 【観覧者】延べ23人 ●オルガンシリーズ 【出演者】 ・Vol.14:大平健介(オルガン)、ウルリッヒ・ヘルマン(ファゴット) ・Vol.15:マティアス・マイヤーホーファー(オルガン) ・Vol.16:長田真実(オルガン)、大平健介(指揮・オルガン)、長岡聡季(ヴァイオリン)、廣海史帆(ヴァイオリン)、伴野剛(ヴィオラ)、懸田貴嗣(チェロ)、永田由貴(コントラバス) 【入場者】延べ532人
2	0歳からの！オルガンクリスマスコンサート オルガンとめくる絵本 ～おんがくのおくりもの～	R5.12.10(日) 【1回】	パルナソス ホール	パイプオルガンの演奏で普段入場が難しい0歳のお子様から音楽に親しめる、パルナソスホール独自企画のクリスマス演奏会を実施。 【出演者】長田真実(オルガン)、小嶋真介(お話) 【入場者】780人
3	チェンバロ講座	通年	パルナソス ホール	チェンバロの活用と普及のため、講師の大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、チェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」(講師=湯浅宣子)を実施。 【受講者】 ・1日体験(5/13、8/6、1/13)講師:高橋千恵 受講生:延べ26人(観覧=延べ15名) ・入門コース(通年):11人 ・初級コース(通年):16人 ・課題曲ワークショップ(通年):延べ74人 ・調律レッスン:延べ24人 ・上級コース(通年):1人 ・ダンス講習会(6/11、11/26、2/10 クラス1・2・3):延べ60人 ・受講者発表会(3/17)【入場者】90人

〔交響詩ひめじ普及事業〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第34回 「交響詩ひめじ」合唱コンクール	R6.2.4(日)	パルナスホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクールを実施。なお、小中学校の児童数減少及び部活動縮小傾向のため従来の部門を改定。 【審査員】池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、矢田正一(兵庫県合唱連盟副理事長)、林裕美子(声楽家) 【最優秀賞・姫路市長賞】 姫路市立広嶺中学校コーラス部 【最優秀賞・池辺晋一郎賞】 合唱団 姫詩 【優秀賞】 飾磨 Solare 合唱団、合唱団「響」 【入場者】250人
	「交響詩ひめじ」公開合唱ワークショップ	R5.12.3(日)  【各1回】		交響詩ひめじ振興を目的に、作曲者池辺晋一郎による公開合唱ワークショップを実施。 【出演】池辺晋一郎(お話・合唱指導) 【受講者】25人(聴講者22人)
2	「交響詩ひめじ」演奏会	R6.3.3(日)  【1回】	パルナスホール	「交響詩ひめじ」の振興を目的とした、2月の合唱コンクール受賞団体と吹奏楽によるジョイントコンサート。 【出演者】池辺晋一郎(お話)、西谷亮(指揮)、交響詩ひめじ合唱コンクール受賞4団体、姫路市吹奏楽団・播磨国吹奏楽団(演奏) 【入場者】250人

### 3 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施した。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第51回 姫路落語会 〔公1〕	R5.8.19(土)  【1回】	アクリエひめじ中ホール	文化センター開館から数えて今回51回目を迎える、桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会を実施した。 【出演・演目(出演順)】 桂りょうば「普請ほめ」 桂紅雀「いらち俵」 桂吉弥「蟬芝居」 桂南光「青菜」 月亭八方「狸の賽」 桂米團治「親子茶屋」 【入場者】635人

NO	事業名	開催日	開催場所	内容
2	第32回 こころの祭 姫路 〔公1〕	R5.11.11(土) 【1回】	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催しを実施した。 【実施協力者】22件 【入場者】延べ1,651人
3	第32回 キャスパ寄席 〔公1〕	R5.11.25(土) 【1回】	キャスパホール	会館オープン当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。演目は、会場の雰囲気により決定した。 【出演・演目(出演順)】 桂天吾「道具屋」 桂小鯛「やかん」 桂米平「お玉牛」 桂米紫「宗論」 桂文之助「夢の酒」 【入場者】275人
4	いいむろなおきマイムカンパニー 「走れ!走れ!!走れ!!!」 〔公1〕	R5.12.23(土) 【公演2回】 R5.11・23(祝・木) 【ワークショップ1回】	キャスパホール	昨年に引き続き、兵庫県出身のマイム俳優いいむろなおき氏によるパントマイム公演を開催。公演約1か月前には同氏による小学生対象のワークショップも開催した。 【入場者】①120人②135人 【受講者】12人
5	劇団四季 「クレイジー・フォー・ユー」 〔公1〕	R6.1.15(月) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	劇団四季の人気演目「クレイジー・フォー・ユー」を華やかに上演した。 【入場者】1,887人
6	ユネスコ無形文化遺産 人形浄瑠璃文楽 〔公1〕	R6.3.10(日) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	ユネスコの無形文化遺産である文楽を、世界遺産のあるまち姫路で開催。令和5年度は文楽協会設立60周年記念でもあり、馴染み深い演目「義経千本桜」を上演し、公演前に鑑賞教室も開催した。 【入場者】471人 【鑑賞教室】210人
7	文化事業連絡会 〔他1〕	年間	県内文化会館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画した。
8	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営を行った。また、地域の文化人、文化団体、市民等財団以外が主催となつて行う公演チケットの受託販売を行った。

#### 4 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 〔公1〕

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。127号より電子書籍も同時発行。  
季刊2,800部

- ① 128号(夏号) 特集: 家島の新しい波
- ② 129号(秋号) 特集: よみがえるか 播磨のローカル線
- ③ 130号(冬号) 特集: 播磨の醸造文化
- ④ 131号(春号) 特集: 浜街道を行く

## 5 「文化情報姫路」の制作 [公1]

姫路市近隣における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月制作し、市民に公開した。紙面(各月4,000部発行)とウェブサイトを通じたデジタルデータでの提供を行った。

## 6 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 [公1]

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図った。

### (1) 文化活動助成

応募:59件 交付:48件(辞退2件、中止1件)

### (2) 後援名義

使用許可:115件(内訳:音楽68件、美術12件、映画鑑賞7件、伝統芸能7件、国際交流5件、舞踊5件、文学3件、演劇2件、その他6件)

## 7 播磨学研究助成 [他1]

姫路市及び播磨地域の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出した。

## 8 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士によって競われる将棋のタイトル戦、予選を勝ちあがった挑戦者との5番勝負の第1局を姫路に誘致、市民を対象とした大盤解説等を実施し、市民文化の向上と姫路市のPRに努めた。

【開催日】4月26日(水)

【開催場所】姫路キャスパホール(大盤解説)

【対局者】●里見香奈(女流王位) — ○伊藤沙恵(女流四段)

【入場者】70人

## 9 第77回姫路市民文化祭 [公1]

交響楽、器楽、吹奏楽、合唱、バレエ、邦楽、舞踊、民謡、演劇、茶華道など各分野で活躍する郷土の200団体、5,090人の参加を得て18の催物を開催し、日頃の練習成果を披露して市民に鑑賞してもらう文化の祭典となった。

【開催日】10月28日(土)～11月26日(日)

【開催場所】アクリエひめじ、姫路キャスパホール、パルナソスホール、市民会館

【総入場者】13,002人

## 10 芸術文化賞選考 [公1]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、姫路市芸術文化賞の選考を行った。授賞式は、令和6年3月22日(金)に開催された第46回姫路市芸術文化賞授賞式で行った。

(1) 選考委員会 1月10日(水)、1月23日(火)

(2) 選考結果

芸術文化大賞:山本和子(工芸)

芸術文化賞:山本雅也(美術)、黒田美江子(歴史伝承)

芸術文化年度賞:中野信吉(文芸)

芸術文化奨励賞:中村猛虎(俳句)、坪田昌之(美術)、西山まい美(工芸)

## II 博物館学芸振興事業

姫路市書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室等の学芸振興事業を実施した。

### 1 展覧会 [公2]

NO	展覧会名	会期	内容
1	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 高知県の諸玩具	R5.4.8(土) ～8.24(木) 120日間	坊さんかんざしや女だるま、鯨船や鯨車、安芸土鈴など85点を展示した。 【入場者】10,704人
2	【春季特別展】 生誕100年・最後の抒情 画家 藤井千秋展	R5.4.15(土) ～7.9(日) 75日間	藤井千秋(ふじいちあき・1923-85年)は戦後の少女雑誌、学年誌や絵本の表紙や挿絵を数多く描いた。優しく澄んだ瞳に、凜としたたずまいの少女画は、抒情画とも呼ばれる。生誕100年にあたる今年に、作品や資料など約290点を展示し、その功績を辿った。 【入場者】8,234人
3	【夏季特別展】 夏休み子どもミュージアム ～乗り物大集合 with 井上 広大乗り物イラスト作品展	R5.7.15(土) ～9.3(日) 44日間 ※8.15(火)は 台風7号接近 のため、臨時 休館。	主に夏休みの小中学生を対象に、工芸品を紹介する展覧会。シリーズ第10回目となる今回は、「乗り物」や「旅行」をテーマに館藏品約140点を紹介。また、県内で活躍する乗り物イラストレーターの井上広大さんのイラスト作品40点、鉄道写真愛好家(亀田正司さん)による鉄道写真約70点を掲出して、工芸館に親しんでもらう機会を設けた。 【入場者】2,550人
4	【所蔵品展①】 清水公照の世界～夏	R5.7.15(土) ～9.3(日) 44日間	当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照(1911-1999年)は、奈良東大寺最高位の別当を務め「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。館藏品107点でその創作世界を味わった。 【入場者】2,550人
5	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 栃木県の諸玩具	R5.8.26(土) ～12.14(木) 94日間	宇都宮の黄ぶな、栃木の火防獅子、鹿沼のきびがら細工、佐野土鈴など197点を展示した。 【入場者】6,894人
6	【特別展】 兵庫県工芸美術作家協会 姫路展	R5.9.9(土) ～10.22(日) 38日間	県下で活躍する工芸作家「兵庫県工芸美術作家協会」は、公募入選作品を合わせ例年6月に神戸市で兵庫工芸展を実施し今年61回を迎えた。本展はその姫路展として陶芸、染織、ガラス、皮革、漆芸、人形などの協会員43人と公募入賞者7人による55点を一堂に会した。 【入場者】2,410人
7	【秋季特別展】 姫路城世界遺産登録30 周年記念・姫路城ゆかりの 工芸―開窯200年の東山 焼、寿ぎの高砂染を中心 に	R5.10.28(土) ～12.24(日) 49日間	姫路城の世界遺産登録30周年を記念して、東山焼開窯200年でもある年に、地元の収集家による「鐵元堂コレクション」73件を中心として、東山焼や永世舎など姫路のやきものと、高砂染や姫路革など、江戸時代から明治時代の工芸品を中心に、173点で姫路藩の工芸とその美意識を偲ぶ機会を設けた。 【入場者】4,213人

NO	展覧会名	会期	内容
8	【所蔵品展②】 清水公照の世界～秋	R5.10.28(土) ～12.24(日) 49日間	1975年に奈良東大寺住職(別当)に就任した清水公照は各地の窯元・工房を訪ね全国の工芸作家と親交を深めた。その成果となる豊かな創作活動の足跡とあわせて、昨年度の新収蔵品もお披露目した。 【入場者】4, 213人
9	【企画展】 はりこ絵付けコンクール展	R5.12.9(土) ～12.24(日) 14日間	姫路はりこのお面や人形に、参加者が自由に絵付けをしたオリジナルはりこのコンクール。募集作品を展示し、金賞、銀賞、銅賞、かわいいで賞を授与した。(審査員:松尾隆[姫路はりこ職人]) 【応募者】10人 【入場者】597人
10	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 秋田県の諸玩具	R5.12.16(土) ～R6.4.4(木) 84日間	秋田の八橋土人形、角館のイタヤ細工、横手の中山土人形や土鈴など98点を展示した。 【入場者】9, 115人
11	【新春特別展】 書家・金澤翔子展	R6.1.6(土) ～4.7(日) 79日間	金澤翔子(かなざわしょうこ)氏は1985年生、5歳から母に師事し書を始め、20歳で初個展を開催し、各地で活躍する。「書に親しむ人にも、初めて触れる人にも書を届けたい」思いを筆に込めた書や資料57点で活動を発信した。 (※併設して、館蔵品より清水公照の書画も紹介した) 【入場者】9, 280人
12	私のいっぴんギャラリー	通年	公募により、工芸分野の市民作品・コレクションを最長2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示した。 【応募者】11人 【入場者】26, 666人

※会期の日数は休館日を除く。

※令和5年度の入館者数26,666人 開館日数303日

## 2 イベント、各種体験教室の実施 [公2]

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施した。

- ① 書写山新緑まつりイベント 5月7日(日)陶芸教室を実施 【参加者】36人
- ② 開館記念日(29年)イベント 7月2日(日)茶会を実施 【参加者】75人
- ③ 秋季の観光促進イベント 11月4日(土)・5日(日)秋の文化祭を実施  
【出演者】12組(各日6組、出演者総数100人)  
【参加者】450人
- ④ 書写山もみじまつりイベント 11月23日(木祝)革小物作り体験教室を実施  
【参加者】5人

また、陶芸、染織、革工芸、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施した。

【参加者】339人(展覧会付帯教室を除く)

## 3 伝統工芸の製作実演 [公2]

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施した。

【実演】姫路はりこ、姫路こま、姫山人形、唐木指物、蒔絵・漆塗り、こま・おもちゃの製作  
【実演日】土曜日、日曜日、祝日(一部不定期) 【実施日数】延べ229日

#### 4 美術工芸館売店事業 [収1]

展覧会の付帯事業として、図録等関連商品の販売を行った。

### III 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民への国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流などの事業を実施した。

#### 1 地域住民への国際教養の普及啓発に関する事業 [公4]

##### (1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理等を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供した。また、地域で暮らす外国人と市民の相互理解を図り、暮らしやすい地域づくりを促進した。4回実施。

- ・バリ島出身 山口ワヤンさんとわくわくティータイム 9月16日(土) 【参加者】21人
- ・スコットランド出身 ケッセンさんとわくわくティータイム 12月2日(土) 【参加者】26人
- ・台湾出身 ステラさんとクッキング 1月21日(日) 【参加者】14人
- ・韓国出身 ギョンアさん&チェリさんとクッキング 3月16日(土) 【参加者】16人

##### (2) 国際理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市内の公立小中高等学校や公民館等へ派遣し、スライドなどを用いた講演を通して、市民に国際理解を深める機会を提供した。27回実施。

【参加者】計1,310人

#### 2 海外諸都市との友好交流に関する事業

##### (1) 姉妹都市等友好親善事業 [公4]

姉妹都市等との友好交流を通して、市民間の交流、市民の異文化理解を促進し、文化の多様性を尊重する地域社会の発展を推進した。

- ① 海外からの来姫者対応(随時)
- ② フェニックス市からの姉妹都市提携45周年記念訪問団対応  
7月19日(水)～22日(土) 【来姫者】28人

##### (2) 青少年交流事業 [公4]

姉妹都市でのホームステイを通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年の育成を図った。

###### ① 青少年派遣

姉妹都市名	派遣者	人数	時期
フェニックス市	高校生	2	7月22日(土)～8月7日(月)
アデレード市	高校生	中止	中止
クリチーバ市	高校生	中止	中止
シャンティイ城・シャルルロア市	中学生	中止	中止
昌原市	中学生	10	7月25日(火)～7月31日(月)
コンウイ城	中・高校生	中止	中止

② 青少年受入

姉妹都市名	受入者	人数	時期
フェニックス市	高校生	2	6月15日(木)～6月29日(木)
アデレード市	高校生	中止	中止
クリチーバ市	高校生	中止	中止
昌原市	中学生	6	12月22日(金)～12月28日(木)
太原市	中・高校生	中止	中止
コンウイ城	中・高校生	中止	中止

③ 派遣生 OB への活動支援(随時)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公4]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語等で提供し、暮らしやすい環境づくりを行った。

① 外国語生活情報誌「VIVA！ひめじ」発行

在住外国人に向け、6か国語※(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国)で最新生活情報を提供した。また、編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流を行う「VIVAの集い」を1回開催した。

【発行回数】4回 【発行部数】3,160部/回

※日本語は、通常版とやさしい日本語版で発行した。

② ウェブサイトの運営

日本語に不慣れな外国人へも速やかな情報提供を図るため、利用のしやすさに配慮したウェブサイトを通して、イベントの告知及び報告、在住外国人のための生活情報等を提供した。また、姫路市の月刊広報誌「広報ひめじ」の誌面から、外国人に必要な記事を選び、やさしい日本語に翻訳してウェブサイトで公開し、広報誌とサイトをQRコードでつなぐことによりモバイルで内容を把握できるよう提供した。

(2) 外国語放送による情報発信 [公4]

FM Genki でベトナム語により生活情報等を提供した。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公4]

機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書を発行し、事業実施状況を報告した。

種類	発行回数及び部数		内容
機関紙「Hello！Himeji」	年1回	1,500部	事業の紹介等。賛助会員等へ郵送する他、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回	各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	年1回	800部	青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、イベントの案内等をダイレクトメールにより送付した。

#### 4 外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催 [公4]

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場に必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行った。初級6クラス、中級1クラス各20名。年3期(5～7月／9～11月／12～3月)各10回開催。

【受講者数】 1期:55人 2期:56人 3期:48人

② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ・日本語ひろばキッズ+

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行った。また、在住外国人児童・生徒の居場所づくりを行った。

(2) 市民のための外国語講座 [公4]

市民に外国語を学習する機会を提供し、市民の異文化理解を図った。姫路獨協大学との共催事業。

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座 [公4]

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティアを養成するため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催した。

【開催日】 8月19日(土)・20日(日)・26日(土) 【修了者】 24人

(4) ボランティアステップアップ学習会 [公4]

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催した。2回実施。

- ・SDGs×多文化共生ワークショップ 10月21日(土)～全3回 【参加者】12人
- ・外国ルーツの子どもたちの学習支援講座 2月3日(土) 【参加者】29人

(5) 外国人相談センター [公4]

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援した。相談員が話すことができない言語でも、翻訳機を使って相談に応じた。

開催場所	曜日	時間	相談員が話せる言語
市民相談センター (市役所1階)	月～金曜日	9時～12時、13時～17時	日本語、英語
		13時～17時	ベトナム語
	火曜日	13時～17時	中国語
		13時～16時	ポルトガル語、スペイン語
城東町総合センター	火曜日	13時～17時	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13時～17時	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13時～17時	ベトナム語

※ 休日及び年末年始を除く

【相談件数】 801件

(6) 地域交流助成事業 [他1]

市内で国際交流・相互理解を図るための事業を実施する団体に助成した。

【助成件数】2件

(7) 国際交流フェスティバルの開催 [公4]

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国の民族舞踊や音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアボリジナルアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図った。

【開催日】10月29日(日) 【会場】大手前公園

(8) 日本語スピーチコンテストの開催 [公4]

日本語を母語としない在住外国人に日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供した。コンテストではなく発表会形式で実施した。

【開催日】2月18日(日)

【会場】イーグレひめじ 【発表者】12人(8か国) 【来場者】133人

(9) ウクライナ避難民支援 [他1]

ロシアのウクライナ侵攻によってウクライナから姫路市へ一時避難したウクライナ国籍を有する方々の生活を支援するため、姫路市ウクライナ避難民支援一時金を支給する。

※令和5年度は支給対象者なし。

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

在住外国人への多様な支援につなげるため、国際交流推進に係るボランティアを募り、活躍の場を提供すると共に交流連携を推進し、その活動を支援した。

(1) 市民ボランティアの登録推進

広く一般市民を対象に、通訳・翻訳、日本語指導のボランティア登録を随時受け付け、国際交流に関する情報と公益活動の機会を提供した。

(2) 市民ボランティアによる事業の推進

登録ボランティアが在住外国人支援のために主体的に企画・運営する事業の、実施と活動の支援を行った。

また、ボランティアは海外姉妹都市青少年交流事業において、青少年派遣時に研修アシスタント、受入時に財団プログラムに参画した。

【推進した事業の例】

- ① ボランティアによる日本語学習者支援
- ② ボランティアによる在住外国人向け情報誌の制作(企画・取材・翻訳・編集)

## IV 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を図った。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施し、利用者への安全性の高い施設管理に努めた。

文化事業への貸出は、公益目的事業3。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理した。

### 1 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

年間利用者 32,430人 使用率 52%

### 2 パルナソスホールの管理運営

年間利用者 41,059人 使用率 66%

## 令和5年度 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

